

## 2023 年度「学部・学府一貫教育プログラム」参加募集要項

新型コロナウイルス感染症に関する状況に応じて、やむを得ず、選抜方法等を変更する可能性があります。  
選抜方法等に関する最新情報について本学のホームページ上で随時発信いたしますので、出願の際には必ず最新の情報をご確認ください。

本プログラムは、将来大学院修士課程を経て専門研究者や専門職を目指す意欲と能力のある学生を選抜するプログラムである\*。

※ 大学院経済学府修士課程に進学するためには、別途、4 年次前期に本プログラム参加学生のみを対象に実施される大学院経済学府修士課程「特別選抜試験」を受験する必要がある。

※ 経済学部グローバル・ディプロマプログラム (GProE) に在籍している学生は、自動的に本プログラムの参加資格を得るため、本選抜に応募する必要はない。

### 1. 募集人員

15 名程度（経済・経営学科、経済工学科の合計）

### 2. 出願資格

出願資格を有する者は、2022 年 10 月 1 日現在で、九州大学経済学部 3 年次以上に在籍し、2024 年 3 月卒業見込みの者のうち、以下の①あるいは②に該当する者。但し、3 年次編入学生は対象外とする。出願資格①に該当する者については別途掲示する。

#### ①以下の(1)～(3)のすべてに該当する者

- (1)3 年次前期終了時点で、卒業に必要な基幹教育科目の単位を全て修得していること。
- (2)3 年次前期終了時点で、卒業に必要な基本科目の単位（経済・経営学科：20 単位、経済工学科：28 単位）を含む学部専攻教育科目を 48 単位以上修得していること。
- (3)専攻教育科目の成績優秀者（3 年次生の上位 20%以内）

#### ②演習指導教員による推薦を受けた者

### 3. 出願期間

10 月 28 日（金）から 11 月 4 日（金）17 時

### 4. 出願手続

志願者は、次の書類を整えて人文社会科学系事務部学務課経済担当 (jbkkyomu2ec@jimu.kyushu-u.ac.jp) へメールで提出すること。

- (1) 志願書（所定の用紙に必要事項を明記したもの）
- (2) 学習計画書（志望動機、これまでの学習内容、今後の研究計画（大学院進学後も含む）について、適宜参考文献を引用するなどしながら A4 用紙 2 枚 [2,000 字] 以内にまとめたもの）

### (3) 演習指導教員等の推薦書（様式任意）

教員が電子データにパスワードを付し、学生が上記書類とあわせて提出すること。  
パスワードは、学務課より推薦教員に照会する。

## 5. 選抜方法

提出書類並びに口頭試問の結果を総合して被選抜者を決定する。

## 6. 口頭試問期日及び場所

日時：2022年11月30日（水）

実施方法：インターネットなどを使って遠隔で口頭試問を行う。

場所は志願者の自宅など。

ただし、口頭試問を受験する部屋には志願者以外の入室は認めない。

## 7. 合格者発表

日時： 場所：経済学部ホームページ

2022年12月15日（木）10時 場所：経済学部ホームページ

## 8. 「学部・学府一貫教育プログラム」概要

本プログラムに選抜された学生は、九州大学大学院経済学府修士課程の特別選抜試験を受験することができる。

本プログラムに参加する学生は、大学院経済学府経済工学専攻並びに経済システム専攻が開設する「学部特別専門科目」及び「リサーチ・ワークショップⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を4年次前期から履修することができる。修得した単位は、大学院経済学府修士課程に進学した場合、上限15単位まで既修得単位として認定される。ただし、学部の卒業要件の単位に含めることはできない。進学しない場合は、修得単位として成績証明書に記載する。

経済工学専攻に進学した場合は、経済工学専攻が開設する「学部特別専門科目」及び「リサーチ・ワークショップⅠ・Ⅱ・Ⅲ」以外の単位は修士課程の修了要件の単位に含めることはできないので注意すること。

大学院経済学府修士課程在学中に優れた業績を上げたと認められた場合、修士課程を在学期間1年で修了することができる。